

## アクションプランの評価について

### 1 趣旨

令和 5 年 7 月に「県立中井やまゆり園当事者目線の支援アクションプラン～一人ひとりの人生を支援する～」(以下「アクションプラン」という。)を策定して以降、アクションプランに基づく取組を進めてきた。

令和 7 年度は計画期間の最終年度であることから、計画期間 3 年間の成果や課題を見える化し、地方独立行政法人における福祉科学研究や支援の実践につなげていく。

### 2 評価の方法

- 園と県本庁が、アクションプランの 4 つの柱ごとに、評価として、
  - ① 「達成度を表す指標」を設定し、年度末までの進捗把握
  - ② 「具体的な取組状況や成果」として、アクションプランの核となる取組について、実施回数等の取組状況（アウトプット）に加え、利用者の暮らしが豊かになったのかなどの成果（アウトカム）を整理
  - ③ できていること、できていないことを振り返り、「課題」、「今後の方向性」を取りまとめる。
- アドバイザリー会議では、4 つの柱ごとの評価に加え、県がとりまとめる「総括評価」を審議し、「アドバイザリー会議としての意見」を付記する。

### 3 評価の時期

- 令和 7 年度中は、4 つの柱ごとの取組を評価し、課題や今後の方向性をアドバイザリー会議で議論する。
- アドバイザリー会議構成員の任期は、令和 8 年 3 月 31 日までとしているが、任期延長し、来年度に令和 7 年度末までの取組実績を把握した上で、令和 8 年度当初に「アクションプラン評価調書」（別添）を取りまとめる。

### 4 評価の公表

- 令和 8 年 6 月を目途に、県議会に報告及び県ホームページに公表する。

# 「県立中井やまゆり園 当事者目線の支援アクションプラン」 評価調書

(令和5年度～令和7年度)

## 総括評価

### 評価

### 課題

### 今後の方向性

## アドバイザー会議の意見

<b>I</b>	<b>人生に共感し、チームで支援する</b>
<b>取組内容</b>	○ 利用者一人ひとりに、これからどのように暮らしたいかを聞いて、その実現に向けた支援を約束し、チームで支援する また、利用者一人ひとりの人生を支援するためのガバナンスを強化する

具体的な取組状況と成果
◆生育歴・人となりシートの作成
◆利用者面談の実施
◆モニタリング会議の本人参加
アクションプランの達成度を表す指標
課題
今後の方向性